

## 〈子育て世代包括支援センター情報〉

### 子どもを健やかに育てるために ～愛の鞭ゼロ作戦～

子育てにおいて、しつけと称して、叩いたり怒鳴ったりすることは、子どもの成長の助けにならないばかりか、悪影響を及ぼしてしまう可能性があります。次のポイントを心がけながら、子どもに向き合みましょう。



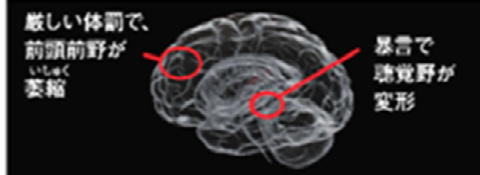
- 1) 子育てに体罰や暴言を使わない
- 2) 子どもが親に恐怖を持つとSOSを伝えられない
- 3) 爆発寸前のイライラをクールダウン
- 4) 親自身がSOSを出そう
- 5) 子どもの気持ちと行動を分けて考え、育ちを応援



#### 体罰・暴言は子どもの脳の発達に深刻な影響を及ぼします。

脳画像の研究により、子ども時代に辛い体験をした人は、脳に様々な変化を生じていることが報告されています。親は「愛の鞭」のつもりだったとしても、子どもには目に見えない大きなダメージを与えているかも知れないのです。

##### ●子ども時代の辛い体験により傷つく脳



提供：福井大学 友田朝美教授

- ・厳しい体罰により、前頭前野（社会生活に極めて重要な脳部位）の容積が19.1%減少  
(Tomoda A et al., NeuroImage, 2009)
- ・言葉の暴力により、聴覚野（声や音を知覚する脳部位）が変形  
(Tomoda A et al., NeuroImage, 2011)

体罰は百害あって一利なし。子どもに望ましい影響をもたらしません。

幼児期の体罰によって、子どもから親への信頼や愛情が損なわれたり、うつ・著しい不安・多動など精神的な問題を持ったりすることがあります。周りの人を傷つけるなど反社会的な行動が増加したり、感情的にキレやすく攻撃性が強くなったりすることもあります。その影響は幼児期だけにとどまらず、大人になってからも続く可能性があります。

(Gershoff ET, Grogan-Kaylor A, J Fam Psychol, 2016)

※詳しくは厚生労働省ホームページをご参照ください

〈[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kodomo/kodomo\\_kosodate/dv/index.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kodomo/kodomo_kosodate/dv/index.html)〉

子育て中の方はもちろん、その周囲の方、保育園や教育現場をはじめとした子どもの生活の場で子育て支援に携わる方など、多くの方が理解し体罰等によらない子育てを応援し広げていくことが大切です。

〈お問い合わせ〉

佐川町健康福祉課 生活応援係

Tel : 22-7705 FAX : 22-7721

子育て世代包括支援センター専用電話

Tel : 090-4785-7705